

# 令和4年度 学 校 評 価（学校関係者評価） 令和5年3月8日

## 学校関係者評価のポイント

- ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。
  - ・自己評価の結果は指標等とともに妥当なものであるか。
  - ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適当であるか。
- 評価 ⇒ 4：十分達成    3：概ね達成    2：検討の余地あり    1：不十分

## 学校経営ビジョン

- 校訓「理想」「優雅」「自主自律」の下、生徒一人一人に親身に寄り添い、互いを認め合い高め合う校風の醸成に努め、
- ① 確かな学力と変動する社会に対応できる資質・能力、教養と品格を身につけさせ、社会に貢献する気概を育む学校
  - ② 生徒の主体的な挑戦・試行錯誤の場を保障し支援することで、自信と誇りを持たせ、自己肯定感と人間力を育む学校
  - ③ 生徒の能力・適性を生かした進路を実現させ、保護者・地域の期待に応え、地域に開かれ信頼される魅力ある学校

## 具体的実践目標

- 1 確かな学力の保証・・・基礎学力の定着、学びの質の向上
  - a 予鈴により学びに向かう主体的な学習姿勢の確立
  - b 基礎基本の確実な定着
  - c 「都西杯<sup>®</sup>-T」の効果的な運用と学びへの意欲喚起
  - d A L型授業の研究と実践
  - e I C T機器の活用推進
  - f 「カリキュラム・マネジメント」研究による授業・評価の改善と資質・能力の育成
- 2 人間力の保証・・・自主自律の確立、自己肯定感の高揚
  - a 基本的生活習慣の確立
  - b 「行動指針」の励行指導
  - c 部活動の推進と活性化
  - d 主体的に挑戦する場の保障と自己肯定感の高揚
  - e 面談やアンケート相談の充実
  - f ボランティア活動及び地域貢献活動の充実
  - g 様々な学校行事等を通じた人間力の育成
- 3 進路の保証・・・探究活動の推進、学外との連携強化
  - a 保護者や卒業生、地域や関係機関と連携した意識啓発の企画と実践
  - b 進路希望に対する早期対応ときめ細かな指導
  - c 「探究活動」を核に社会との関連を実感させ自己の生き方への思索を深める
  - d Classi と Google Classroom の有効活用
- 4 学びの場の保証・・・信頼される学校づくり
  - a 家庭、同窓会、地域、企業等との連携強化
  - b 内規の可視化(都西ハンドブック)
  - c 戦略的な情報発信(HP、SNS、塾・中学校との情報交換等)
  - d 生徒会活動の支援充実
  - e 学校関係者評価の適切なフィードバック
  - f 教育職員の矜持によるコンプライアンス意識の保持

「生徒に身に付けさせたい資質・能力(NP7)」(カリキュラム・マネジメントによるPDCAサイクル)

- ①思考力    ②想像力    ③表現力    ④行動力    ⑤コミュニケーション能力    ⑥協働力    ⑦自己肯定感

学年指導の目標 : 「凡事徹底」(当たり前のことを当たり前に実践し平凡を非凡に究める) + 「守・破・離」

- 1 学年：「守」(醸成)の学年    基礎基本の確実な定着 → 挑戦
- 2 学年：「破」(挑戦)の学年    挑戦 → 自己の可能性の追求
- 3 学年：「離」(飛翔)の学年    自己の可能性の追求 → 自立

今年度の重点目標 ※本年度のスローガン「探究活動を学びのエンジンに、自走する生徒育成への挑戦」

- ① 教育システムの整理とアップデート
- ② 「カリキュラム・マネジメント」推進(資質・能力を育成する授業と評価の研究)
- ③ 都西の魅力発信(戦略的な広報活動による入学定員充足)
- ④ 創立60周年に向けた具体的準備(学校の活性化に資する記念行事の立案)

努力目標	実践 関連	自己 評価	学 校		評価	学校関係者
			成果○	改善策●		継続議案△
<b>教務</b>						
1 生徒が高校での学習方法を身につけて主体的に学習できるようになることを支援する指導の在り方を検討する。	1-a 1-b 1-e	3 [2.7]	○家庭学習実態調査の内容を工夫改善し、指導に活用した。 △主体的学習に向かわせる方法の研究が必要。		2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身が主体的に学習する意識付けが向上できるとよいと思います。</li> <li>・55分授業等の工夫は素晴らしいのでこれからも教育的効果のある取組をお願いしたい。</li> <li>・タブレットが生み出す教育的効果について検証してほしい。</li> <li>・主体的学習は、大変難しい問題ではありますが、研究して取り組んでほしい。</li> <li>・現在では定員確保は学校だけの問題ではなくなりつつあるように思います。県全体での議論をする段階ではとと思います。</li> </ul>
2 55分授業を効果的に運用する指導法やICTを活用した指導法の研究を推進する。	1-b 1-d 1-e 3-d	3 [2.9]	○55分授業はうまく運用できている。 ○ICTの使用は確実に増えている。 ●授業見学や実践研究を活発にし、ICTのより効果的な活用を推進する。 △Chromebookの活用、Classiの活用の検討を継続していく。			
3 生徒に身につけさせたい資質・能力を踏まえた観点別評価の在り方を検討する。	1-d 1-f	3 [2.5]	○手探りだが、観点別評価の形はできた。 ●教務部から指針を示し、改善していく。 △生徒に身につけさせたい資質・能力を考えた授業作りを検討していく。			
4 高校説明会やオープンスクールを通して普通科高校の魅力を発信する。	4-c	3 [3.4]	○オープンスクールでの事前指導により生徒のプレゼンや主体的な動きをアピールできた。 ●中学校への案内文書や集約方法を改善する。 △より戦略的な生徒募集方法を検討する。			
<b>生徒指導</b>						
1 基本的な生活習慣の確立を目指す。	2-a 2-b 2-b	2	○新制服の採用により、多様性に対応できた。 ●体育祭練習時、財布の紛失が数件あった。 △公共施設でのマナーや、交通ルールについて外部から指摘を受けた。		2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主性の育成で、多くのボランティアに参加したことは、とても評価されると思います。</li> <li>・学校行事を生徒主体で実施し、自主性の育成に努めているので、素晴らしい。</li> <li>・LGBTQ等への対応はよくできて</li> </ul>
2 自主性の育成に努める。	2-g 2-f	3	○様々な学校行事を生徒主体で実施することができた。 ○たくさんの生徒がボランティアに参加した。			
3 関係部署との連携を図る。	4-a		○校則の見直しについて、生徒・保護者・職			

		3	員での三者会議を実施することができた。 △公共施設でのマナーや交通安全について、 関係機関と連携して注意喚起を図る。		いる。  ・校則がなぜ必要なのか、全体的な議論もしてほしい。
4 研修体制・教育相談の充実に努める。	2-d	2	△ツーブロックの規定を生徒会で検討中である。		
<b>進路指導</b>					
1 生徒の進路希望の把握と入試制度改革に関する情報収集・周知に努める。	4-c 4-b	2	△新課程対応の入試の情報がまだ不十分で、 カリキュラム対応がこれからである。 △入試情報収集のための Web 説明会などへの 参加環境の整備の必要がある。	3.1	・早い段階で情報収集・周知も生徒自身がアンテナを張れるよう自覚できるとよいと思います。 ・生徒にとって進路情報は、大切なものであるため、幅広い情報提供をお願いします。 ・卒業後のビジョンを上手く持たせることができると生徒も伸びていくと考える。 ・伸ばした実績を中学校に積極的に宣伝してほしい。
2 生徒への進路情報提供の充実を通じた進路意識の醸成に努める。	3-b	3	◎オープンキャンパスや大学でのフェスタ等 呼びかけ、生徒の積極的な参加が見られた。 △学習意欲への結びつきが弱く感じられる。		
3 ICTを活用したポートフォリオ作成を効果的に進める。	1-e	3	◎ポートフォリオ活用による入試書類等の作成が見られた。 ●学期末等定期的な入力・フィードバックの時間の確保が必要である		
<b>環境保健</b>					
1 定期健康診断、体力診断の結果をもとにした事後指導の充実に努める。	2-a	3	○全職員の協力のもと計画通りに実施できた。 △学校医との連絡を密にする。	3	・コロナ感染症対策も大変だったことと察します。特に3年生は入学時からマスクの生活でこころの成長の支えに学校がなっていたことと思います。
2 自主的な健康管理ができるように、保健委員会活動を通して啓発活動・保健指導の充実に努める。	2-b	3	○保健委員会の活動を充実させ自己健康管理を促せた。 △自己健康管理の徹底を図る。		・環境・防災を意識した教育が実践されている。
3 美化委員会活動を通して、清掃活動・校内美化の推進を図り、教育環境を充実させると共に、ゴミの減量化を徹底する。	2-g	3	○清掃の取り掛かり及び取り組み等まだ不十分である。 ●委員会活動を通して啓発活動を実施する。		・保健室を利用する生徒にも丁寧に対応されていると聞き、大変な苦勞もあるかと思いますが、生徒の支えになってもらえるとありがたい。
4 地球温暖化対策を推進する。		3	○ゴミの分別がある程度行えた。 △ゴミの減量化を進めていく必要がある。		
5 防災訓練及び防災教育を通して、災害に対する意識を高めさせ、指導の充実に努める。	2-g	4	○防災訓練を計画的に実施できた。 △来年度は2年2回程度実施して行きたい。		
6 感染症対策に取り組み、学校生活が充実で	2-a		○取り組みが不徹底で個々の意識向上が必要。		

きるよう工夫・改善しながら対策を行う。		2	●学校全体で、徹底して取り組む必要がある。	
7 心の健康にも配慮し、心身にバランスのとれた成長をめざす支援を行う。	2-e	3	○保健室等の利用の中で少しは対応できた。 ●学校全体で、個別に対応する必要がある。	
<b>図書</b>				
1 読書活動の推進を図る。	2-a	2	●朝の10分読書は帯としての活動をしているが、学年裁量となり、読書の絶対的時間が減少している。LHRでの活用も工夫したい。	3 ・読書は、プライベートでやってほしいが、学校でも限られた時間内で工夫して取り入れてほしい。  ・読書の取組の効果が分かるとより活発になっていくのではと思います。
2 図書館利用の促進・図書資料の充実・広報活動の推進に努める。	4	3	○図書委員会だよりと一緒に、また、状況に応じて図書新着情報等の広報活動をミライムやクラス掲示等で活発に行った。	
3 図書委員会の活性化に努める。	2-d g	3	○ビブリオバトルの運営、学期一度の「図書委員会だより」の発行等、コロナ禍の現状においては積極的に活動できた。	
<b>渉外</b>				
1 積極的なPTA活動の推進を図る。	4-a	3	○PTA総会は書面審議となったが、2、3年の学年PTAを実施し、学級委員の決定もスムーズに行えた。PTA合同学年委員会・専門委員会、FMC活動、合格うどんはコロナ禍の中、計画通り実施できた。(12/22に合格(うどん)セットを配布予定) 県高P連秋季研究大会県南ブロック大会、全国高P連石川大会に参加した。令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰授与。	3.1 ・コロナ禍の中で、PTA総会や合格うどん等の行事の判断が難しかったことと思います。  ・PTAと連携し、積極的な活動を実施している。今年度は創立60周年記念行事を成功させ、歴史を振り返り、未来ある都城西高の存在感をアピールできていた。  ・60周年記念式典は参加させていただきました。学校に関係する人たちの思いが生徒にも伝わったのではと思います。これからも母校愛の感じられる取組をお願いします。
2 広報活動の活発化を図る。	4-c	3	○PTA会報誌「葵碧」は各学期での行事等を読みやすくわかりやすい紙面作りで充実した内容の広報誌を作成し発行できた。	
3 職員の福利厚生と融和・親睦を図る。	4-f	2	△親和会は今年度より単年度決算とし、規約改正した。コロナ禍で全体での歓迎会等は中止し、縮小しての実施。	
4 同窓会との連携・創立60周年記念行事の成功。	3-a 2-g	3	○10月29日(土)都城市民文化ホール大ホールにて創立60周年記念式典を挙。計画	

	4 - a		通りの式典を実施できた。記念誌は2月末発行予定。現在、作成中。		
<b>情報</b>					
1 校務支援システムの効率的運用と活用促進	1 - e	3	○入力締切日もほぼ守られ円滑な成績処理が遂行できた。 △観点別評価の入力についての周知徹底	2.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かいところは分かりませんが、新しい評価の方法が求められているようで、より客観性のある取組が実践できるようにお願いします。</li> <li>・Instagram の積極的な活用は素晴らしい。</li> <li>・外部メディアも紙面が空いている時は掲載してもらえるので、積極的に動いてほしい。</li> </ul>
2 G suite for Education (Google Classroom) の積極的活用	1 - e 3 - d	3	○ chromebook の活用が定着してきた。 ●各教科や先生方個人での活用度の差がなくなるような方策		
3 各校務分掌の情報に関する業務の支援・協力	1 - e	3	○各校務分掌と連携し、相互協力して円滑な校務処理ができた。		
4 本校 PR 活動における多角的な方策の立案	4 - c	3	○ Instagram のフォロワー数も増え、日々の学校活動を PR できた。 ●ホームページのさらなる充実を図る。		
5 情報部員および職員の情報スキルの向上を図る。	1 - e	3	○日々進化する情報化に対応した校務や授業の実践を展開できた。 △職員の情報モラルの徹底を図る。		
<b>教育相談</b>					
1 生徒の抱える悩みや困難を早期に発見し、関係職員と連携を図りながら、早期に問題解決へと導く。	2 - e	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年会に教育相談部員も出席</li> <li>○当該生徒の担任と密な連携</li> <li>○必要に応じて保護者も交えての面談</li> <li>○いじめアンケート、教育相談旬間の実施</li> <li>○1年生を対象に心理テストを実施</li> <li>●心理テスト結果のより積極的な活用</li> <li>△新入生面談の実施時期再考</li> <li>△行き渋り生徒への対応</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に寄り添える教育相談は、配慮が必要で大変なことと思います。思春期の生徒の悩みに大人が解決へと導く支えが学校にあることは素晴らしいと思います。</li> <li>・教育相談については、相談しやすい環境が大切だと思います。気軽に相談できる環境を作って欲しいです。</li> <li>・生徒の質が変わってきているとは思いますが、西高校の育てたい生徒像を是非伝えてほしいと思います。</li> </ul>
2 配慮を必要とする生徒の早期発見と支援を行うとともに、全職員と共通理解を図りながら、スクールカウンセラーや専門機関と連携する。	2 - e	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の状況に応じ、スクールカウンセラーの派遣要請</li> <li>○保護者へ、外部専門機関の紹介</li> <li>●今年度はスクールカウンセラーの派遣校であるため、適時のカウンセリングが難しか</li> </ul>		

			った。 △配慮を要する生徒のための別室として、教育相談室だけでは対応できなくなる恐れ。	
3 職員研修や支援会議をとおして、生徒に対する理解を深める。	2 - e	3	○1学期に支援会議、2学期に職員研修（特別支援）を実施	
<b>事務</b>				
1 効率的かつ効果的な予算執行に努める。		3	○各校務分掌等に予算を配分し、適期に必要な予算の執行ができるように努めた。	2.8 ・限られた予算内での実施は難しいと思いますが、優先順位をつけて予算執行に努めてほしい。  ・学校が老朽化してきている。また校門前の風景がずいぶん変わりました。これからもよい学校になるようにいろいろな面で頑張ってもらいたい。
2 環境に優しい物品の購入や光熱水費の節約を推進する。		2	△不要な箇所の消灯を呼びかけ、節電に努め使用量は減少したが、電力入札が不調に終わり、電気料としては後半増加する事態となった。 ●生徒も含め、今後も機会あるごとに節電について周知する必要がある。 ○物品については、エコマークの付いた物の購入に努めた。会議等ではタブレットを活用することでペーパーレス化が図られた。	
3 安全で衛生的な教育環境を整備する。		2	△今年度の学校発注修繕実績は、1千万円近い金額となっているが（台風被害含む）、老朽化が進んでいる建物が多く追いついていない状況である。 ●来年度も引き続き予算確保に努め、修繕を実施し安全確保に努めなければならない。 ○道路拡張工事に伴う校内環境整備工事（営繕課執行）が今年度実施された。学校入り口付近の工事であったため、出入り口の切り替えについて Classi や文書で保護者への周知を図った。また、道路側の安全確保のため、都城市や自衛隊と調整を図り、ラインテープの施工やカーブミラーの設置を行った。	

4 他部や各学年との連携・協力体制を構築し、円滑な学校運営に寄与する。		3	○運営委員会等の会議やミライムを活用し、機会あるごとに事務室からの情報や意見を発信した。	
5 本校窓口として適切な接遇を心がけ、学校のイメージアップに努める。		3	○迅速に、明るく、笑顔で対応するよう心がけた。	
6 学校徴収金等の納期内納入促進に努める。		2	○口座振替日のリマインドや未納者への納付依頼を適切なタイミングで行い、未納者を増やさないよう努めた。 ●未納者に対して、未納であるという事実や公平性だけを根拠に督促を行うことには限界がある。部活動の派遣規程を見直し、未納が多くある場合は大会等の出場に制限がかかる恐れがあることを示すなど、未納防止かつ納入促進になるような状況を整えるべきではないか。	

#### フロンティア科

1 「学力評価重視コース」と「総合評価重視コース」の設置	3 - b 3 - c	3 3	●学力評価コースの生徒が推薦を受ける場合、材料がない。全員探究の対応をしていきたい。	2.8	・コロナ禍で実施できなかったこともフロンティア科の特色をもっと分かりやすく発信してほしい。
2 宮崎県内「フロンティア科」を設置する3校（延岡星雲高校・日向高校）との連携	4 - a	2	●今年度は実施していない。		
3 海外との交流・探究活動の英語発表	2 - g	2	●今年度は実施していない。		
4 フロンティア科通信の地域へ発行等広報活動の充実	2 - d 4 - a	3 3	○フロンティア科フェスタを実施。在校生にとってもプラスになっている。		

#### 第1学年

1 基本的な生活習慣を確立させ、本校生徒としての自覚と誇りを持たせるとともに、良好な人間関係を築かせる。	2 - a	2	○都西生としての生活習慣は身に付いた。△友人関係のトラブルが複数あり。●授業、行事を問わず、あらゆる場面で生徒主体の活動の機会を増やしたい。	3	・高校生として基本的な生活習慣が身についたと思います。  ・1年生の時期はとても大切だと思います。高校3年間を決めるといってもいいかと思います。最初に意識付けを是非お願いしたい。
2 基礎学力の定着に向けて、授業を中心とした意欲的・継続的な学習習慣を身に付けさせる。	1 - a 1 - b	2	○授業態度は総じて良好。△自宅での学習習慣と基礎学力が定着していない。●生徒の実態に応じた教師による粘り強い指導と牽引が		

3 自己理解に基づいた進路目標を持たせ、自己実現に繋がる主体的な文理選択を行わせる。	3-b 3-d	3	必要。 ○進路学習や面談などを通して卒業後の進路を踏まえた適切な文理選択ができた。●進路志望に見合う学力を意識させその定着を図ることが必要。		
--	------------	---	---	--	--

### 第2学年

1 行事、部活動においてリーダーとなる学年としての自覚と誇りをもたせ、意欲的に行動する態度を養う。	2-c 2-d 2-g	3	○各行事における実行委員、部活動の主将の活用 ○ポートフォリオや学年通信の活用 ●リーダー以外の主体性の醸成が必要	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動発表会は地元、特に都城で育てるという雰囲気を強く感じました。</li> <li>・探究活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・中堅の学年としていろいろと工夫されていると聞き、頼もしく感じました。</li> </ul>
2 基礎学力の定着に向けて、毎時間の学習目標に対し、能動的に取り組む態度を養う。	2-b 2-c 3-d	2	○都西サポートで講座制を実施（チーム制導入）●Classi チャレンジを主体的に取り組ませる仕掛けが必要		
3 進路目標を具体的に持たせ、個に応じた、声かけや仕掛けを行うと同時に、進路実現に向けて主体的に取り組ませる。	3-b 3-c 3-d	3	○地域連携型探究活動を通して主体性が育まれている ○推薦入試に向けた講座を実施予定（3学期）●成績の分析を進路意識（家庭学習）へ還元する仕組みが必要		

### 第3学年

1 基本的な生活習慣を確立させる。	2-a	2	●朝の遅刻が多かった。△厳密に遅刻を記録し、指導していく必要がある。8:28で遅刻を記録していいのではないか。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最高学年として学校をとりまとめ、都西の最高の思い出を作っていると思います。</li> <li>・文系・理系に限らず、第一志望に合格できるようこれからも指導をお願いします。</li> </ul>
2 最高学年としての自覚と誇りをもたせ、帰属意識を高める。	2-d 2-g	3	○学校行事等でリーダーとしての活動ができた。○クラス行事、学校行事等を通じて帰属意識は高まったように感じる。		
3 自分の将来まで見通した上での進路目標をたてさせる。	3-b 3-c	2	△LHR や IGI の時間等を使うなどして、考える時間を設定。△小論文学習で、「志望理由書」、「自己PR」作成、志望大学に関する調査をしたが、これらを効率よく使う手立てが必要。		
4 授業を中心とした学習により学力を向上させる。	1-b	3	△理系クラスの中に受験をする生徒としない生徒がいるので別のクラスに編成。		

1 確かな学力の保証	a	2.5	b	2.8	c		d	3	e	3	f	3			総合	2.9
2 人間力の保証	a	2.2	b	2.3	c	2.5	d	2.8	e	3	f	3	g	3	総合	2.7
3 進路の保証	a	3	b	3	c	3	d	3							総合	3
4 学びの場の保証	a	2.8	b	2.5	c	2.7	d	2.7	e		f	2			総合	2.6



